

茨城県、ダイバーシティ啓発などでアクサ生命と連携

2023/04/20 18:01 日本経済新聞電子版 282文字

茨城県は19日、アクサ生命と地域の様々な課題に迅速、適切に対応し、社会の活性化や県民の安全安心な暮らしにつながる包括連携協定を締結した。健康推進やダイバーシティ・インクルージョンの理解増進、地域振興・産業振興などで協力する。



茨城県とアクサ生命は「健康づくりの推進」などの連携事項を掲げた（19日、水戸市）

同日、県庁で締結式を開き、大井川和彦知事と幸本智彦副社長が出席した。大井川知事は同社について「ダイバーシティに対する理解が大変深い。力添えをいただきながら、全国に誇れるダイバーシティ社会をつくっていききたい」と期待を述べた。

同社が同様の協定を結んだ広域自治体は茨城県が8道県目。茨城県が企業・団体と包括連携協定を結ぶのは20者目になる。

許諾番号30093494日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。

本サービスで提供される記事、写真、図表、見出しその他の情報（以下「情報」）の著作権その他の知的財産権は、その情報提供者に帰属します。

本サービスで提供される情報の無断転載を禁止します。

本サービスは、方法の如何、有償無償を問わず、契約者以外の第三者に利用させることはできません。

Copyrights © 日本経済新聞社 Nikkei Inc. All Rights Reserved.